

とまこまい 市議会だより

第10回 臨時会・第11回 定例会を
開催いたしました

第19号 平成29年8月10日発行



とまチョップポイントを議会傍聴者に付与
を記念して(裏表紙に記事)

■ 編集・発行・お問合せ先

苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

URL <http://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gikai/>

検索は

苫小牧市議会

検索



第11回定例会 6月15日(木)～23日(金)

一般質問に20名の議員が登壇 (内容は各会派記事を参照願います)

統合型リゾート(IR)や市民ホール、福祉、防災など多岐にわたり論戦!

平成29年度 苫小牧市一般会計補正予算(第2回)

平成29年度歳入歳出の総額に

8億1,996万5千円を追加し

歳入歳出の総額を

761億8,117万5千円としました

予算の一部は

臨時福祉給付金の支給漏れが報告され、各議員から質疑が集中しました。

支給漏れは 199件
総額 120万9千円

原因は本来送付すべき申請書を送付していませんでした。

27・28年度予算のため国からの補てんはなく、全額苫小牧市が出すこととなります。

平成29年度 苫小牧市水道事業会計補正予算(第1回)

平成29年度資本的支出に

2,700万円を追加し29億6,036万7千円としました

(植苗ポンプ場非常用発電機設置工事)

主な補正予算

事業名	予算額	事業概要
植苗地区テレビ共同受信施設増設事業費	1,779万9千円	植苗・美沢地区における、航空機による電波障害防止対策
特定教育・保育施設等給付	1,619万5千円	3歳未満児の多子世帯に対し、同時就園条件を撤廃し、第2子以降の保育料を無償とする(年収条件有り)
沼ノ端鉄北地区複合施設整備事業費	5億2,251万7千円	新千歳空港24時間運用拡大に伴う地域振興策として児童センター・出張所・集会所を兼ね備えた複合施設を建設
ウトナイ交流センター展望施設整備事業費	1,102万4千円	新千歳空港24時間運用拡大に伴う地域振興策としてウトナイ交流センターに展望施設を整備
遺跡発掘調査等事業費	390万1千円	樽前山火山砂防工事のうち、管理用道路の建設予定地に遺跡が存在するため発掘調査を行う経費

■ 契約の締結

緑ヶ丘公園サッカー場
改修工事

3億207万6千円

拓進小学校校舎
増築主体工事

1億6,416万円

■ 動産の取得



40m級はしご付消防車
2億3,328万円

化学消防ポンプ
自動車Ⅱ型
7,884万円

第10回 臨時会 5月12日(金)～17日(水)

新議会三役決定! 議長に木村 司氏が就任!

副議長に松井 雅宏氏、監査委員に渡辺 満氏

**臨時会で報告されました
苫小牧市税条例等の一部改正**

施行日 平成29年4月1日

【軽自動車税関係】

排出ガス性能および燃費性能に応じた
軽減措置を2年間延長

■ 50%軽減

2020年度燃費基準 + 20%達成

2020年度燃費基準 + 30%達成

■ 25%軽減

2020年度燃費基準

2020年度燃費基準 + 10%達成

とそれぞれ変更されました

**【国民健康保険税関係の軽減判定
所得の算定について変更】**

5割軽減 26万5千円 → 27万円

2割軽減 48万円 → 49万円

**平成28年度 市立病院事業会計
補正予算(第2回)**

病院職員退職基金繰入金 1,106万8千円

7億6,688万円

7億7,794万8千円

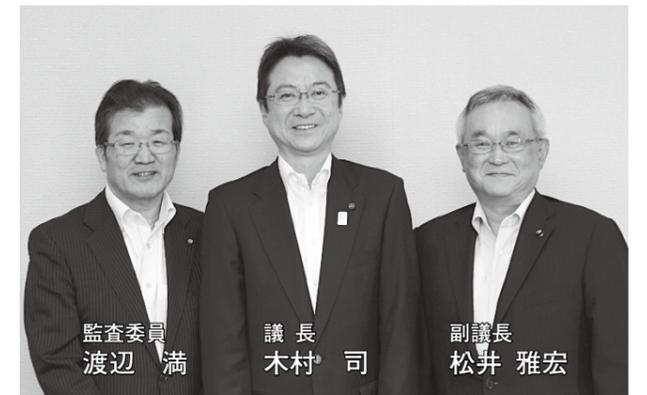
契約の締結

日新団地11号棟新築主体工事および
衛生設備工事

11億7,180万円

大成町市営住宅改修主体工事

2億8,749万6千円



監査委員 渡辺 満 議長 木村 司 副議長 松井 雅宏

5月16日の臨時会におきまして、第36代
苫小牧市議会議長に就任いたしました。
市議会を代表しご挨拶申し上げます。

公平公正な議会運営を目指すのはもと
より、党利党略のパフォーマンスに陥ら
ない議会運営を心掛けていきたいと考
えております。

今、全国の地方議会はその存在意義を
問われております。苫小牧市議会とし
ましては、先輩議員から受け継いだ伝
統を忘れることなく、議会改革に取
り組んでまいりたいと考えております。

市民の皆さまから、「自分たちの議会だ」
と思っただけのような議会になれる
よう、議員各位と努力してまいります。

2年間、よろしくお願い致します。

苫小牧市議会議長 木村 司



常任委員会

市民の足を

どう守るのか議論

総務委員会

富岡 隆 委員長

所管事項の28年度公共交通関連事業について、道南バスに移譲してから初めて約500万円の赤字になったことが報告されました。また、利用者の減少や運転手の不足から40を超える便数の削減が行われていたことも明らかになるなど市民への影響が懸念される事態となっています。質疑では、バス事業者に対し、市民の足を守るという視点から手だてを取る必要性を指摘。市側としては、今後も協議会の中で利用者に大きな影響を与えないよう、協議していくことが述べられました。



道南バス

「苫小牧市交通安全実施計画(案)について」推進方針が示される

厚生委員会

松尾 省勝 委員長

所管事項は、「ふくし大作戦!! 2016実績報告」などの5項目があり、特に「苫小牧市交通安全実施計画(案)について」では、計画における具体的な取り組みについて示され、当初目標を「交通事故死者数を3人以下とせず、ゼロを目標とすべき」との質問に、市としては、「数値目標をゼロと見直し取り組んでいく」との見解が示されました。

そのほかに「沼ノ端地区の公衆浴場閉鎖対策」や「特定外来生物ヒアリ」の対応について質疑されました。



交通安全

「公設地方卸売市場のあり方についての取組経過」などを議論

文教経済委員会

宇多 春美 委員長

所管事項の「公益財団法人道央産業振興財団の事業について」では、28年度事業報告・29年度事業計画の説明があり、道央地域(苫小牧市、千歳市、恵庭市、安平町)のものづくり企業の技術力向上などを進めていく必要があると質しました。

「公設地方卸売市場のあり方についての取組経過」では、指定管理者制度の導入検討に対し、課題の整理と取組経過の説明を受け、今後策定する経営展望に向けて市場運営審議会の中で検討する市場の方向性、運営方針などについて質しました。



水産市場

市営住宅老朽化の安全対策が課題!

建設委員会

越川 慶一 委員長

日新町及び大成町の市営住宅において、外壁落下事故が相次ぎ、市側から市内の中・高層市営住宅の緊急点検を行い、危険と判断した建物には侵入防護柵や防護ネットの設置などの安全対策を実施したことや今後の対応について説明を受け議論しました。なお、市内には築40年以上経過の建物も多く、29年度中に市営住宅整備計画を策定する予定です。

また、下水道使用料徴収漏れについて、過去5年間分の請求額約1,001万円が確定したことで、該当する一般家庭や事業所に対し、請求額の支払いに理解を求める戸別訪問を行い、5月末までに約151万円が支払われたことの説明を受け議論しました。



市営住宅

特別委員会

総合防災訓練計画

などについて質疑

安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

岩田 薫 委員長

9月に開催される総合防災訓練の計画案など4件について質疑が交わされました。

要支援者避難支援計画(案)では、町内会との連携が不可欠なことから、町内会との協定締結が進められているが、現在では33町内会にとどまり、対象者の名簿の管理などから、難しい面もあることが明らかにされました。さらに、災害時の調査などのため、ドローンの導入について、29年度購入されることが明らかになりました。

市民ホール建設の質疑では、建設地や施設規模などを決める、基本設計の素案について、早ければ9月議会に示す意向が示されました。



避難訓練

IR等の臨空ゾーン構想を検討する有識者会議を7月に設置

総合開発特別委員会

林 光仁 委員長

所管事項は7件あり、米軍再編関連、航空機事故、空港経営改革、統合型リゾート(IR)、(株)苫東経営概況について質疑が交わされました。その中で統合型リゾート(IR)について、今後の取組として7月初旬に市の成長戦略に掲げる臨空ゾーンにおける国際リゾートの展開のため、構想検討の場として、有識者会議を設置するむねの発表がありました。

また、尼崎市で確認された「特定外来生物ヒアリ」に対する対応では、国からの指示に基づき、中国広東省南沙港からの貨物船の有無を調査しているとの報告があり、翌日、該当する船舶がなかったと報告がありました。今後は事前に掌握ができるよう、適切な対応を図ることにしました。



IRセミナー

議会改革検討会

「本年9月に解散の是非を問い結論へ!」
「次期市議選の定数は現状維持の28名」
「議会基本条例は正副議長案を示す方向へ」

検討会では、これまでの議論を踏まえ、市長選と市議選の同日実施についての結論は、9月に出すことを決定しました。次期市長選では、市議会の補欠選挙も予定されているため、各会派からできるだけ早く結論を出すべきとのことで一致しました。

選挙のずれを解消する方法=次期市長選に合わせて市議会を自主解散する。

解散する条件=議員4分の3以上の出席のうち5分の4以上の同意が必要である。

現在は議員数が26名=26名の出席のうち21名以上の同意が必要ということになります。

本年9月には自主解散に対する各議員の賛否とその理由を確認し判断します。

定数に関しては、定数28名の検証を優先し、次期市議選は現状維持で行くことが決定しました。

議会の柱となる「議会基本条例」は正副議長案を示す方向で決定しました。

国や道の関係機関に意見書を提出

- ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める要望意見書
- 平成29年度北海道最低賃金改正等に関する要望意見書

任期満了による人権擁護委員の決定

- 鶴巻 安子氏
- 川村 卓司氏

ザ・議会改革!

わかりやすい議会づくりを進めてまいります!

公明党議員団

林 光仁・池田 謙次・藤田 広美
神山哲太郎・大西 厚子

乳がん対策で、マンモグラフィー検査では異常が判別しづらい体質・高濃度乳房であることを、乳がん

【大西 厚子 議員】

長年取り組んでいる、公共施設と小中学校のトイレの洋式化の拡大。毎年、秋口に問題になる「落ち葉対策」について「間引き」の拡大や清掃作業の効率化など、質問しました。

【池田 謙次 議員】

2年間の議長職を退任し、待ちに待った一般質問でした。この2年間で、多くの市民の方々からの要望などの一部を質問しました。

港まつりについて、パレード時に沿道の皆様にイスの設置と冷たい水などの「おもてなし」の推進。また、休憩場の設置を提案。

（仮称）市民ホールについて、詳細に渡り、駐車場の拡大など、提案しました。



池田 謙次 議員

■ 一般質問等（抜粋）

市営住宅の自治会運営について、居住者の高齢化などから役員の手不足のため運営に支障がでており、その対策として共益費を家賃と一緒に集金することや相談の充実、運営マニュアルを改訂することについて質問。市側は前向きに取り組んでいきたいと答弁がありました。



神山 哲太郎 議員

検診の結果で通知する仕組みの導入を提案。関係機関と協議し対応を決定すると答弁がありました。

受動喫煙防止について、公共施設の屋内に喫煙所を設置している2施設を改善し、屋外喫煙所については、設置状況の実態把握を行い改善に努めると答弁がありました。

ほか、HPV検査について・訪問理美容の助成について・小規模特認校について質問しました。



藤田 広美 議員

がん教育の推進では、日本対がん協会のDVDを全中学校に配布。教員研修と、こころの授業は外部講師を活用。学校保健会を通じて、学校・医師会・市教委の連携を深めて推進する。

教員の多忙化の解消は、調査物の見直しと、事務の効率化を図り、部活動指導員の導入を中学校長会で協議する。

災害情報の発信では、防災メールやテレフォンサービスの実施と、市民周知にカードやチラシの配布を検討。防災ハンドブックは女性の視点を取り入れる。

防災訓練の終了後に、参加団体などにアンケートを実施。

ほか、**小中一貫教育、雑草・害虫**

【藤田 広美 議員】

高丘霊葬場について、利用件数が増えており火葬炉の老朽化のため更新を進めるべきと質問。市側は庁内の協議を重ねて整備計画を策定し、市民生活に支障が無いように進めたいと答弁がありました。



藤田 広美 議員

東日本大震災から6年経過し、災害文化として根付かせるため災害対策を質問。 自助に対する市民の意識や備えの実態把握を求め、出前講座や防災訓練などの参加者にアンケートをすると答弁がありました。

また、消防防災訓練センター内に家具転倒防止コーナーの設置や、災害時に調乳のお湯が提供できる自販機を福祉避難所などへの導入を質問しました。



林 光仁 議員

対策、空き家対策など質問しました。

【林 光仁 議員】

東日本大震災から6年経過し、災害文化として根付かせるため災害対策を質問。自助に対する市民の意識や備えの実態把握を求め、出前講座や防災訓練などの参加者にアンケートをすると答弁がありました。

また、消防防災訓練センター内に家具転倒防止コーナーの設置や、災害時に調乳のお湯が提供できる自販機を福祉避難所などへの導入を質問しました。

介護保険については、28年度から着手した総合事業の進捗は、課題が多くいまだスケジュールが示せないことと答弁がありました。

顕在化しない課題を抱える子ども・若者の支援策の方向性については、29年度中に決めると初めて明らかにされました。

総務委員会では、障害者スポーツの推進所管部を再検討していくことと答弁がありました。

緑 風

矢嶋 翼・岩田 典一・木村 司
竹田 秀泰・板谷 良久

【第11回定例会一般質問】

☆老朽化が進む公設卸売市場・水産棟の建て替え見通しの問いに、30年度迄に劣化度を調査し、将来の経営

☆民間運営の「子供食堂」に市の支援が必要との提案に、関係部署と協議すると答弁がありました。

☆新たな英語教育の強化策の問いに小学校外国語活動巡回指導教員を配置すると答弁がありました。

☆オートリゾート・アルテンは、これまで市出資の第三セクターで運営してきましたが、独立採算出来ず市の支援も昨年5千万円を超えている事から改善を求め、今後、利用者の増加に努め、運営者公募への判断をしたいと答弁がありました。

☆市民間運営の「子供食堂」に市の支援が必要との提案に、関係部署と協議すると答弁がありました。

☆新たな英語教育の強化策の問いに小学校外国語活動巡回指導教員を配置すると答弁がありました。



矢嶋 翼 議員

【第9回定例会代表質問】

☆37項目に渡り質問しました。

☆統合型リゾート誘致の質問では雇用創出や経済活性化に寄与する。今後、市民の理解を深める取組みを進めると答弁がありました。

☆臨時福祉給付金の支給漏れについて質問し、この制度は、政府が平成26年に実施した消費税引き上げに伴う所得の少ない方への影響を緩和する政策で、27年度、28年度の2カ年分、計199万件、120万9千円が対象者に支払われていませんでした。原因は、生



岩田 典一 議員

☆児童の交通安全で、よく目立つ黄色の通学帽を着用すべきとの提案に、モデル校を設けると答弁がありました。

☆弾道ミサイル発射への対応や避難訓練を求める質問に、頑丈な建物に避難する事などへの周知に努め、訓練実施も関係機関と協議すると答弁がありました。

展望策定の中で示すと答弁がありました。また、水産棟内の活魚槽導入は販路の拡大が見込めるので、さらなる増設を求め、利用する関係者から意見を聞き対応したいと答弁がありました。

☆児童の交通安全で、よく目立つ黄色の通学帽を着用すべきとの提案に、モデル校を設けると答弁がありました。

☆弾道ミサイル発射への対応や避難訓練を求める質問に、頑丈な建物に避難する事などへの周知に努め、訓練実施も関係機関と協議すると答弁がありました。

☆共同墓の近親者・身内のいない方の対応について質問し、希望者から事前に共同墓埋葬希望届(自分の死後、自分の焼骨を共同墓に埋葬されることを希望する)を提出していただき、本人死亡後、埋葬手続きをスムーズに行うと答弁がありました。

☆苦小牧市民文化芸術振興助成金について質問し、市側から29年度は応募が多く減額をしたが、30年度は予算を多く確保していきたいと答弁がありました。



竹田 秀泰 議員

活保護システムデータに生活保護の停止や廃止年月日が正しく反映されていないなかったこと、給付金担当と生活保護担当の間で必要なデータの認識やチェックなど十分な連携が取れていなかったと答弁がありました。

さらに私は、財源は、本来、国で賄う処置だが、支給が遅れたことで市税が投入されることに対し指摘をさせて頂きました。

☆犯罪行為により不慮の死と遂げた方の遺族または傷害を受けた方の精神的被害の軽減のため、犯罪被害者等見舞金制度導入を提案し、市は調査検討することになりました。

☆透明性の高い教科書選定には、教育委員会の考え方を明確にすることが必要であることを求め、教育長は道徳の教科書においては「ふるさと」に関する記述を重視することを明らかにしました。



板谷 良久 議員

☆IR(統合型リゾート)について、現在10社程度のIR事業者が本市を訪れ、自然の豊かさや国際空港に近隣していることを評価し、数社が本市への投資を検討していることが明らかになりました。

☆市営住宅整備計画について質問し、今後20年間の計画であり、市営住宅全体の整備計画を平成30年2月の定例議会で報告すると答弁がありました。

民進党・市民連合

代表 西野 茂樹 ・ 副代表 小山 征三
幹事長 松尾 省勝 ・ 副幹事長 岩田 薫

★総合戦略の中の人口ビジョンの次期策定時に、**就学前、就学後の子育て支援の拡充**を求めたのに対し、人口減少に対し効果があることから検討していくとの答弁がありました。

★平成28年11月に明らかになったJR問題では、1市4町での首長懇談会は4回開催され、**路線の存続を維持**としたことを評価するとともに、この基本姿勢を継続するよう求めました。

★鹿児島市の空き家対策の視察をもとに、市の空き家対策について条例制定など提案しました。市民生活部では、29年度に空き家の実態調査を行い、他市の状況などを参考に、**空き家対策計画を策定**することが示されました。

一般質問(岩田 薫議員)

1 政治姿勢
(1) 苫小牧市人口ビジョン及び総合戦略における子育て支援について
(2) JR北海道単独維持困難路線について
2 空き家対策について
3 選挙の経費について



岩田 薫 議員

★市のスポーツ推進計画では、高齢者にも楽しむ機会を広げる中、市内では「パークゴルフ」への高齢者競技人口が増えています。今後、**高齢者の生きがいづくり**として、施設使用料を無償化するなどの提案をしました。市は今後、全市的なパークゴルフ大会を開催するなど、「とまこまポイント」の付与を検討しながら、高齢者へのスポーツ普及を進めるとの考えを示しました。

★市内の公園には、「健康器具」の設置がされていますが、35ヶ所の公園には説明看板が未設置であり、**器具説明看板的必要性**を指摘しました。市は、看板設置を進め、公園の利活用を図るとしています。

一般質問(松尾省勝議員)

1 農業行政
(1) 就農者等支援事業について
2 商業行政
(1) 創業サポート事業について
3 スポーツ行政
(1) 苫小牧市スポーツ推進計画について
4 公園行政
(1) 公園の利活用について



松尾 省勝 議員
<http://m-matsuo.jimdo.com/>

★熊本地震から学ぶこと
平成28年4月に2度の最大震度7を記録した熊本地震では、さまざまな計画はあったものの、多くの課題を残しました。避難者の生活再建では、**自宅に被害がなくても余震が不安で帰宅できない避難者**が多く、対応に苦慮したそうです。また、避難所の炊き出しは、自衛隊が必要な資機材などを準備しますが、食材は自治体管理室では、自衛隊に確認した結果、見直すことが明らかになりました。

★災害不明者の公表基準
本市では、災害時に不明者の氏名の公表基準を設けていませんが、佐藤副市長は「一定の基準は必要である」との認識を示しました。

一般質問(小山征三議員)

1 政治姿勢
(1) ラムサル条約について
(2) 高齢者・障がい者等に配慮した広告印刷物について
(3) 公共施設等総合管理計画について
2 防災対策
(1) 災害発生時の避難者等の対応について
3 民生費の増加傾向における今後の対応について
4 子どもSOSの家について



小山 征三 議員
<http://www.tomakomai.or.jp/koyama/>

★総合開発特別委員会では、国及び道が7空港一括民営化について、空港所在地自治体に一切の事前相談や説明もなく、民間委託の5原則を決めたことを問題視し、市の見解と今後の対応を質しました。市側も、全く同様の認識をもっており、今後、**国、道に対して、事前協議が担保されるよう働きかけたい**との考えを示しました。

地元の意向が反映される空港機能について、今後も理事者に強く求めています。

★議会改革検討会では、市長選挙と同一選挙となるよう議会を解散すべきと会派の考えを改めて表明しました。

委員会の総意として**議会解散の是非を9月議会**で明らかにすることとなりました。



日本共産党市議団

小野寺幸恵 ・ 渡辺 満隆
工藤 良一 ・ 富岡 隆

▼カジノを含むIRについて
IRに対し、ギャンブル依存症を心配する市民の声や、「ギャンブル依存症は脳の病気で簡単に治らない」との医師の発言を紹介し、「IR誘致の考えは変わらないのか」と市長に質問しました。

市長は「食っていきけるまちにするにはどうするかを考えなければならぬ」と、あらためてIRへの意欲を示しました。

▼安全な草刈機について
繰り返し起る草刈時の事故防止策として、市議団の視察で体験した石が飛ばない草刈機を紹介し、活用を求めました。

教育長は「全小中学校で導入する」と答弁。道路・公園などを所管する都市建設部では、「4台導入した。今後検証し、拡大したい」と答弁しました。

▼高齢者支援について
身内がいけない、迷惑をかけたくないなどの理由から献体を希望する高齢者が増えている問題で、相談体制について質問しました。

担当部長は、「悩みを抱えている方の相談窓口があるので、そのなかで最期の相談があればのりた」と答弁しました。

お金の管理ができずに電気を止められた方や、2度のボヤを出した1人暮らしの高齢者を紹介し、支援していく制度・仕組みについていただきました。

担当部長は「関係部署と連携して早期発見し、1人暮らしが困難な場合は施設入所などの対応をしたい」と答弁しました。

一般質問 工藤 良一 議員



▼自然環境の保全について
昭和49年から毎年北海道に要望していた、美々川流域の自然環境保全地域の指定について、30年度の要望項目から外した経緯を質問し、美々川に流入しているペンケナイ川・パンケナイ川を含めた環境保全の必要性をたずねました。

担当部長は「早期の実現が難しく要望をいったん取り下げたが、環境保全の実効性ある対策について検討する」と答弁し、ペンケナイ川・パンケナイ川を含めることも明らかにしました。

▼介護保険について
30年度から所得の高い方の利用料が3割負担になるため、サービス抑制の懸念から影響について質問しました。

担当部長は「サービス抑制を防ぐことが重要」との認識を示しました。また、要支援の方が介護給付費か

ら地域支援事業に移行しますが、国が定める事業費の上限を超える可能性があるため、一般財源の活用を求めました。

市長は「頭が痛い問題。予算をシミュレーションしながら考えていきたい」と答弁しました。

▼紙おむつの収集無料化について
2歳までの子どもがいる家庭と紙おむつ給付事業を受けている高齢者のみに、ごみ有料袋の無償配布をしています。紙おむつのように無料収集することで、紙おむつ利用者全員が対象になり公平。年間約400万円の経費削減にもなる」と提案しました。

「内部で検討しているが方向性が煮詰まっていない」との市長答弁を受け、廃棄物減量等推進審議会を検討することを求めました。

一般質問(小野寺幸恵議員)



小野寺 幸恵 議員

▼振興公社の事業報告について
昭和40年に100%市が出資して作った第三セクターである振興公社は、施設管理として大きな役割を果たしてきましたが、29年度で解散します。

これまで振興公社が管理してきた屋外スケートリンクの製氷技術が高いことを評価し、新たな事業者になっても製氷レベルが低下しないよう

提案。担当部長は、「経験と技能を持つ者を配置する」と答弁しました。

また、解散後の職員の再就職先について、振興公社の社長でもある副市長は、「市が責任を持つ」と答弁しました。

報告 富岡 隆 議員



▼オスプレイの訓練について
今夏の北海道での米軍訓練で、初めてオスプレイの使用が予定されている問題で、事故を起こした同機種であり、市民の不安が大きいことを指摘。情報開示と安全安心の観点から、閉会中であっても本委員会を開くことを求めました。

担当部長は「詳細な情報がない」としながらも、委員会での報告を約束しました。

▼建設委員会 渡辺 満 議員

市営住宅に入居し25年以上経過している世帯は1,681世帯ですが、畳の修繕がほとんど進んでいない現状から質問。あわせて、畳以外の修繕要望も聞き取ることを提案しました。

担当部長は「25年が畳交換の目安」と説明し、住宅の整備計画策定後に修繕計画を作って対応すると答弁しました。

建設委員会 渡辺 満 議員



★特別委員会(西野茂樹議員)

★総合開発特別委員会では、国及び道が7空港一括民営化について、空港所在地自治体に一切の事前相談や説明もなく、民間委託の5原則を決めたことを問題視し、市の見解と今後の対応を質しました。市側も、全く同様の認識をもっており、今後、**国、道に対して、事前協議が担保されるよう働きかけたい**との考えを示しました。

地元の意向が反映される空港機能について、今後も理事者に強く求めています。

★議会改革検討会では、市長選挙と同一選挙となるよう議会を解散すべきと会派の考えを改めて表明しました。

委員会の総意として**議会解散の是非を9月議会**で明らかにすることとなりました。

会派市民

谷川 芳一・桜井 忠

一般質問



谷川 芳一 議員



桜井 忠 議員

- 1 I R (カジノ)
 - 市民説明のスケジュールについて
 - 29年度視察予定と報告書のスケジュールについて
- 2 駅前開発
 - 自由通路の撤去について
 - 日通ビル跡地の活用について
 - 全体的開発構想について
- 3 沼ノ端クリーンセンター
 - 地元企業の活用と分離発注について
- 4 教育勅語と道徳教育
 - 教育委員会の考え方について
- 5 文化行政
 - 建てかえ事業による文化的財産の保護について
 - 市民会館題字の保存について
 - 科学センター壁画の保存について
- 6 道路行政
 - 道路の安全使用について
 - 総合体育館前道路の中央線について
 - 民進党事務所裏の停止線と歩道について

改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
牧田 俊之・首藤 孝治



首藤 孝治 議員

第11回定例議会、一般質問では、重度心身障がい児者・医療的ケア児者の早期ショートステイ設置に向け議論し、問題である看護師不足の改善策として、市内在住者を対象に看護師・介護士などの免許取得者で職に就いていない方々を募り、就労へ繋げる事業を提案し、理事者から調査研究していくと答弁がありました。

白鳥王子アイスアリーナトレーニング室の狭い問題については、国のナショナルトレーニングセンターに指定されていることから国際基準に順当したトレーニング別室の設置やアスリートに適したトレーニング器具の配備を求めました。不育症に悩む人を支援するため道が4月に始めた検査や治療費を助成する不育症治療費助成事業に合わせ、市も独自助成するよう求め、検査や治療費が道の助成金の上限を超えた場合、市が上乗せして助成することを検討すると答弁がありました。



牧田 俊之 議員

家庭ごみの戸別収集について平成28年末に実施したアンケート、事業効果、スケジュールについて質問しました。約7割の方が肯定的、分別意識の向上によりごみ量の減量化に寄与、ただし収集業者の作業量の増加という課題に対しては、今後の拡大に向けて総合的に検討・判断したいと答弁がありました。沼ノ端クリーンセンター一炉体制となった場合の環境変化について糸井清掃センターの搬入実績から一日平均40台/程度の車両が増加する事がわかり、周辺地域への丁寧な対応をお願いするとともに、周辺自治体や市民間事業者との連携の提案をしました。水素エネルギー社会構築可能性調査については5つの可能性が示され「苦小牧水素エネルギープロジェクト会議」での具体的な検討を進めると答弁があり、私からは国や北海道との連携について確認し取り組みの前進をお願いしました。

- ◇ 総務委員会
 - 1 苦小牧駒澤大学について、建前論ではなく、生き残りをかけた支援をしていく覚悟はあるのか。
 - 2 苦小牧埠頭(株)オイルターミナル屋外タンク漏洩事故について、使った泡消火剤の量と、備蓄しなければならぬ量に対してどうか。道との備蓄に関する協定の在り方について。
- ◇ 建設委員会
 - 1 公営住宅の壁面崩落事故について
- ◇ 総合開発特別委員会
 - 1 米軍再編交付金
 - 2 米軍再編交付金の在り方について
 - 3 I R
 - 3 実施法案に関する市の考え方について
 - 3 (株)苦東の決算について
- ◇ 安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会
 - 1 総合防災訓練について
 - ・苦小牧市はもとも樽前山噴火を想定していたが、東日本大震災以降、樽前山噴火を忘れていないのか。

陽春

金澤 俊・宇多 春美

新会派「陽春」結成!!

金澤 俊 議員



この度、思いを同じくする宇多春美議員と新会派、「陽春」を結成し、再スタートをしました。これからも市民のみなさんの生活向上にむけ全力で頑張ります！

・子育て支援の拡充へ!!

今回、子育て支援の拡充となる補正提案がなされました。

保育料の軽減については、これまでも苦小牧市独自で国の制度を上回る補助をおこなってきておりますが、今回は今年拡大した第3子以降無償をさらに第2子まで拡大することにしました。これは、軽減の条件が「年収おおむね640万円未満相当の多子世帯」という条件付きではあるものの、対象となるご家族には大きな支援となります。これによって、苦小牧市で子どもを産み育てる環境づくりが進み、人口減少の歯止めとなる起爆剤となればと思っております。

ちなみに、今回は北海道の補助事業を活用した拡充策ですが、事業が継続しさらに子育て支援の拡充が進んでいくことを強く望んでいます。

・まちづくりについて

若い世代は、まちづくりフォーラムを開催するくらいにまちなかに対する期待と思いがあります。その拠点が今はココトマとなり多くの世代の方に活用されているが、ココトマの人の流れがまちなか全体の賑わいになっていません。若者と地元商業者が連携してまちなかに魅力的な拠点づくりをすることを質しました。

・障がい者支援について

障がい者が安心して働くために、雇用する事業者の障がいに対する理解が難しいことと相談支援体制や連携が十分でないことを質し、道の委託機関と連携し就労支援制度の研修会開催をすること、気軽に相談できる窓口を設けると答弁がありました。

・親子読書について

家庭においての親子読書は豊かな心の育成を図る大切なことであると、図書館司書・中央図書館との連携、さらに市P連の協力を得てPTA活動としても連携した取り組みになるよう質しました。

越川 慶一 議員



【市民ホール】建設計画が示されている市民ホールについて、今後の進め方や市民意見の反映方法、科学センターを統合しないことによる影響などを確認するとともに、4つの建設候補地における規模や機能、建設費や管理費など比較検討できる資料が不足していることを指摘したうえで、市が建設候補地として考えている東小学校跡地で、基本コンセプトに示された「市民の誰もが足を運びたくなるような施設」になり得るのか、建設場所の重要性について議論しました。

【科学センター】今後のあり方検討や老朽化、耐震化の対策が必要であることを指摘し早急に検討するよう求めました。

【防災】災害時備蓄計画について充足率が未達成の品目について、できる限り早期の整備を求めるとともに、防災行政無線の海岸沿いへの設置に対しても、整備計画の策定及び総合計画への反映を求めました。

松井 雅宏 議員



第11回定例議会に初めて副議長として臨ませていただきました。副議長として議会運営委員会、代表者会議、議会改革検討会に参画。さらに3日目の本会議一般質問では、議長に代わり議事を進行するなどの経験を積ませていただきました。

文教経済委員会において、道央地域(苦小牧市、千歳市、恵庭市、安平町)の高度技術による産業開発を目的として設立された公益財団法人道央産業振興財団の事業評価を質した上で、今後の基金造成を含めた事業費確保に向け関係機関と協議することを求めました。

また、30年度に策定を目指し検討が進められている「(仮)苦小牧市中企業振興計画」について取り上げ、小規模事業者に特化した条文の必要性。策定過程における市民、議会の意見聴取のあり方とその結果の公表、さらには各種施策や事業が複数の部にまたがることから庁内連携の強化を求めました。

スポット

議会を傍聴するととまチョップポイントがもらえる

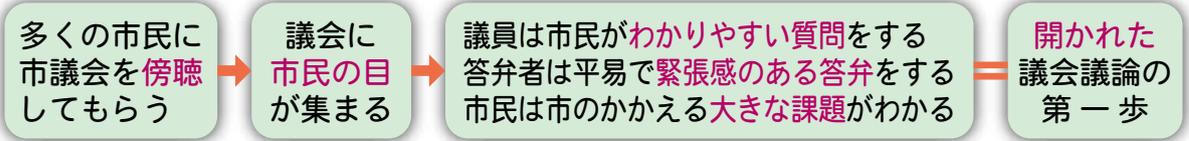


★ 6月議会から本会議を傍聴するととまチョップポイントがもらえます。

手続きは簡単、傍聴する際に入口にある端末機にカードをかざすだけで50ポイントが付与されます。(右の写真)



★この制度の目的



★ 開始初日からテレビ局が3社取材に来て、大きな注目を浴びました。

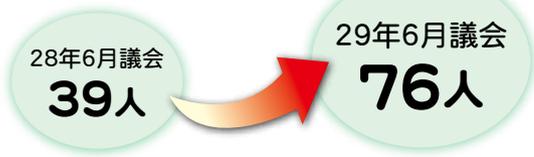
早速道内外から問い合わせがあり、8月には行政視察も来る予定です。行政の取り組みとしても先進的な取り組みとして全国的に注目を集めています。



★ 議会を訪れた市民の声も

- ・ 議会の傍聴が誰でも(簡単に)できることがポイント事業を通してわかった。(市民は見ると思っていた)
 - ・ 初めて傍聴したが、また来てみたい。
 - ・ この事業を通じて、ポイントも付くから是非傍聴に行ってみようと思って来ました。
- 市民からは、おおむね好評価をいただきました。

★ 5日間の傍聴人数は



さらに今後周知が徹底されることにより議会傍聴者がもっともっと増えてほしいものと思います。



とまこまい市議会だより編集委員会

- 板谷 良久・首藤 孝治・桜井 忠・工藤 良一・岩田 薫
大西 厚子・岩田 典一・神山哲太郎・宇多 春美

議会からのお知らせ

■ 議会日程のお知らせ ■

● 第12回 市議会定例会

月 日	内 容
9月6日(水)	陳情締切り(17:00まで)
9月7日(木)	本 会 議 (報 告 ・ 一 般 質 問)
9月8日(金)~12日(火)	本 会 議 (一 般 質 問 ・ 議 案 等 審 議)
9月13日(水)	常 任 委 員 会
9月14日(木)	特 別 委 員 会
9月15日(金)	本 会 議 (残 余 議 案 ・ 委 員 会 報 告 ・ そ の 他)

※日程などについては変更になる場合があります。
議会日程は議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されます。
事前に議会事務局までお問い合わせください。*土・日・祝日は休会。
※常任委員会(総務、厚生、文教経済、建設)
※特別委員会(総合開発、安全・安心及び市民ホールに関する)

編 集 後 記

任期の折り返しで、この2年間、編集作業を担当することになりました。市民の皆様には「とまこまい市議会だより」を通して、苦小牧市議会がわかりやすく、身近なものとなるように精いっぱい努力し、負託に応えてまいりたいと考えております。今後とも市議会の情報を発信してまいります。

とまこまい市議会だより
編集委員長 岩田 典 一